

週刊朝日 U S T 劇場

関西電力の嘘

「関西地方は**原発ゼロ**でも
真夏に**電力不足**は起こらない
みんな安心して!!!」

2012年4月5日

福井県の大飯原発3・4号機の
再稼働などトンデモナイ!!

動かせば、大事故を招いて近
畿地方は廃墟になる。

江戸時代の『丹後風土記残欠』には、大地震で舞鶴沖の島が海中に没したとの記述がある。

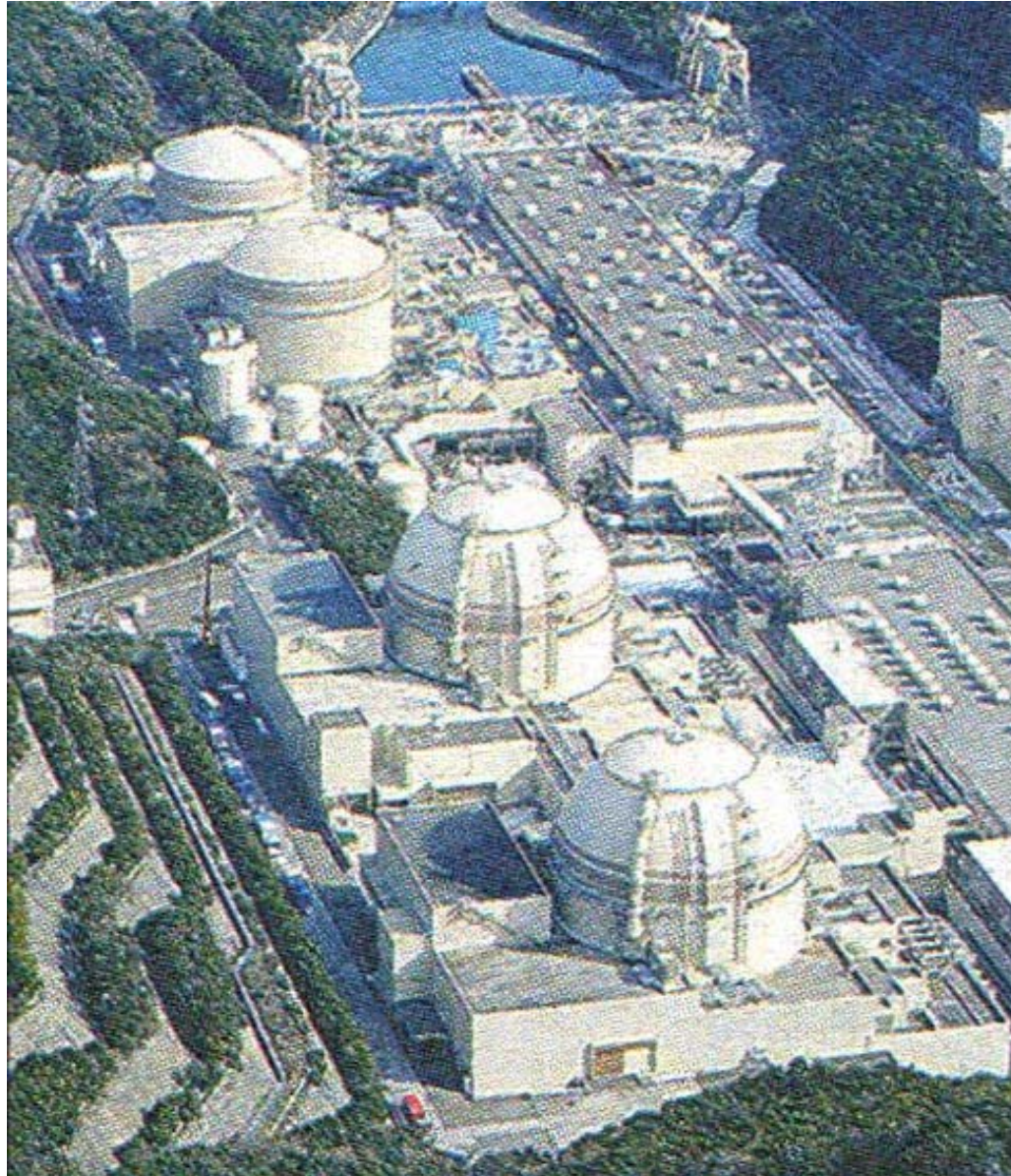
『舞鶴市史』でも、1741年に大浦半島が津波で壊されたと記されている。



大飯原発と小浜市



小浜市民を脅威にさらす大飯原発の原子炉



3月下旬、大飯原
発の再稼働阻止
のために
小浜市妙通寺の
住職・中畠哲演さ
んが断食に入っ
た・・・



関西の水がめ琵琶湖は・・・



30km

60km

京都

100km

大阪も壊滅する

これから説明する内容は、視聴者すべての方が、同じ方法で、全国の電力会社について検証できます。それが最も大切なポイントです。

すべての日本人が、電力会社の「電力不足キャンペーンの嘘」を共有しなければ、私たちがこの国に住めなくなります。

これからその手順を公開しますので、まず内容を見て、話を聞いてください。

本日は、スペシャルゲストに、民主党衆議院議員の川内博史さんをお招きしています。

川内さんは昨年、衆議院科学技術・イノベーション推進特別委員長として、東京電力の福島原発事故について厳しく東電の嘘を追及してきました。

7月27日には、川内さん主催で、原子炉設計者だった田中三彦氏と、東芝の格納容器設計者であった渡辺敦雄氏と後藤政志氏の三人が、東京電力、原子力安全・保安院、原子力安全基盤機構(JNES)を相手にした非公開のヒアリングを実施しました。そして「福島第一原発メルトダウン事故の原因が、津波が襲ってくるより前に、地震の揺れで配管が破損していた可能性」を問いただし、最大の問題を明らかにしました。

そして、この論争の最大の証拠となる「隠している事故マニュアルを出せ」と川内さんが東電に強く求めました。ところが9月7日に、ようやく東電が出したのは・・・

本ドキュメントには、東京電力株式会社またはその他の企業の秘密情報(未特許出願発明、ノウハウ等)が含まれている可能性があります。当社の許可なく本ドキュメントの複製物を作成すること、ならびに本ドキュメントの内容を第三者に開示、公開する行為を禁止します。
東京電力株式会社 原子力運営管理部

1号機 事故時運転操作
2010年 1月1

1号機 事故時運転操作手順書
2010年 1月16日(102)

主要項目	当直長(当直副長)	操作員(A)
12. 原子炉減圧	2. 原子炉減圧指示	3. 下記いずれかの方法により原子炉減圧実施, 報告 (1) SRV「手動開」 (2) HPCI系テストラインにて「手動起動」(注水不要な場合) (3) 非常用復水器「使用」 原子炉冷却材温度変化率 55°C/h 以下
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

操作員(B)	備
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]

「想定外 多すぎる」

東電福島原発事故で、元原発技術者らが二十六日、衆院第二議員会館での勉強会で原発事故の原因について発言の報告書を批判した。(中山洋子)

元原発技術者ら 東電報告書批判

国や東電による公開 三氏。

資料を分析し、事故原因 国も東電もこれまで因を検証したのは、い 公表した報告書などでずれも元原発エンジン は、事故原因を想定外アで、福島第一原発の の津波とし、地震につ設計にも携わったサイ いては「安全上重要な エンスライターの田中 設備は機能を保持でき三彦、高専特任教授の る状態だったと考えら 渡辺敦雄、後藤政志の れる」としている。



福島原発事故の原因は津波より地震ではないかと報告された院内集会=26日、東京都千代田区で

しかし、田中氏は非常時に原子炉を冷やす非常用復水器系が格納容器内の配管のどこかで破損した可能性を指摘。「格納容器の中がどうなってるかは今後も長く分からないまま。津波説も地震説も物証のなさでは等しいが、なぜか地震による配管破断の可能性が排除され、津波対策をすれば原発を運転できるかのように進もうとしている」と批判した。

地震で配管 破損の可能性

渡辺氏は「地震を想定していない米国製の原子炉だけに、配管破断と地震が同時に起こることを試算していない」と強調。配管が壊れた状況で余震が続くケースは「想定外」で、さらに圧力制御室内で水が揺れる力も加算されていないと指摘。福島第一原発の1〜5号機で使われている「マーク1」型の格納容器は配管が破損すると被害が拡大しやすく、国内には同タイプのものが他に十基ある点を懸念した。後藤氏は「福島第一原発の事故では五重の壁が破られ、放射性物質が外と直接つながっている。圧力容器は放射能を閉じ込める格納容器に入っており、安全なはずだった。もしもベントをしなければ過酷事故が防げないのなら、本質的には安全とはいえない。小手先の対策で安全は担保できない」と断じた。

さらに10月26日に、田中三彦、渡辺敦雄、後藤政志の三氏が、衆議院第二議員会館で川内さん主催の記者会見をおこなって、福島事故の真相について、東電と国のシミュレーションが事実を無視していることを痛烈に批判しました。

その後も、東電と激しく対決を続けてきて、現在の原発の再稼働計画に対して、強く反対しておられます。今日、川内さんにおいでいただいたのは、実は、去年の「**東電**の電力不足・節電キャンペーンの**嘘**」を暴いてくださった方でもあるからです。

今年は、みなさんと共に、「**関電**の電力不足・節電キャンペーンの**嘘**」を暴いてゆきましょう!!

昨年、私は週刊朝日の連載誌上で、
日本の電力会社すべて、原発ゼロでも
電力不足にならないことを実証しました。

ところがおかしなことに、今年に入ってから、福井県の大飯原発を再稼働させようと目論む関西電力（関電）が、「2012年夏に2010年並みの猛暑であれば、原発ゼロの場合に25%の電力不足が起こる」と主張して、これを経済関連記者がそのまま引用して、電力不足を煽り立ててきた。

関電、来夏の不足率拡大

エネルギー試算 揚水減で25%に

経済産業省資源エネルギー庁は9日、関西電力の来夏の電力供給力について、新たな試算を明らかにした。7月末の前回試算に比べて他社からの融通や揚水発電が大きく減り、合計2353万キロワット。昨夏並みの猛暑を想定した最大需要3138万キロワットに対する不足率は25%で、前回の19.3%から拡大した。

関電の原発は来年2月まで、足率は15%程度となる。でに11基すべてが止まる。火力発電は前回試算と比べて約70万キロワット増える。運転再開できない前提で、見込み。長期休止中の海南企業などが持つ自家発電設備の活用など、現段階で見込める供給力を含めた。今夏の前最大需要2784万キロワットと比較した場合の不足率は約20%増やす。一方、揚水発電は約20

■関西電力の来夏の供給力見直し

	今回	前回 (7月末)
原子力	0	0
火力	1925	1854
水力(一般)	236	238
水力(揚水)	187	395
他社からの融通など	6	47
合計	2353	2533
予想最大需要(3138万キロワット)に対する不足率	25%	19.3%

と前回は一致しないため、エネルギー庁の試算は、資源単位の合計が内訳と異なる

0万キロワット減の見込み。夜間に余る電力でダムにくみ上げた水を使って昼に発電するが、原発停止で余剰電力が足りず、水不足が生じるためだ。一般的な水力発電も長殿発電所(奈良県)など一部が台風12号の大雨で被災し、2万キロワット減る。

7月末時点では47万キロワットを見込んでいた他の電力会社からの融通も大幅に減る見込みという。

関電の八木誠社長は1日の会見で「抜本的な対策は原子力の再稼働しかない」と述べた。一方、設置に時間がかからず、東京電力が今夏に進めたガスタービン発電機による供給力確保は「検討課題」とするにとどまっている。ただ、こうした原発以外の手段への消極姿勢が、電力不足を深刻化させる懸念もある。(清井聡)

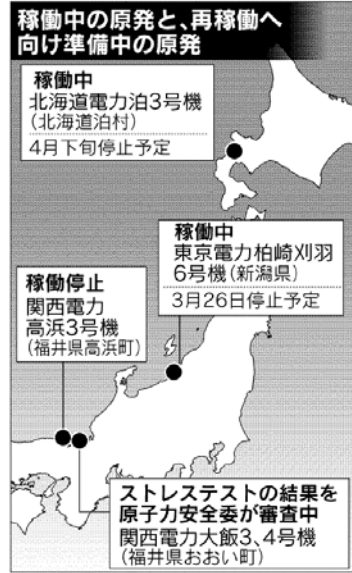
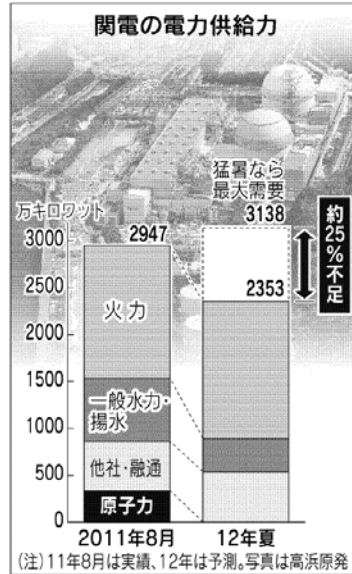
関電、供給「危機的に」

原発全11基が停止

鈍い政府 遠い再稼働

関西電力は20日深夜、高浜原子力発電所3号機（福井県高浜町、出力87万キロワット）の定期検査のため発電を止めた。関電の原発11基すべてが停止し、関西の電力供給は火力発電所のフル稼働と他社からの電力購入に頼る「危機的状況」（八木誠社長）を迎える。原発再稼働に向けては地元同意が必要だが、野田政権は消費増税の実現に全力を挙げており、この問題を枝野幸男経済産業相らに委ねているのが現状だ。

今夏25%不足の恐れ



「節電や平年並みの気温で需給は安定しているが、寒波や設備のトラブルがあれば逼迫しかねない」。八木社長は同日の記者会見で懸念を示した。今夏には猛暑時に最大25%の電力不足もあるとの試算を提示。「できただけ早く（原発を）再稼働したい」と述べた。稼働中の原発は全国で2基となり、現状では4月末までに全54基が停止する。政府のエネルギー

福井議会在焦点

枝野経産相は1月27日の記者会見で、再稼働が「新たな安全基準」を強制する「電力使用制限令」に乗り切れることを十分可能なことについて十分な可能性がある」と述べた。しかし、具体的な需給計画を示しているわけではない。裏付けに乏しい。「新たな安全基準を示す時期は4月に原子力規

環境会議が昨年7月にまとめた予測では「原発ゼロ」の場合、沖縄県を除く全国で今夏に9.2%の供給不足が生じる。福井県は「ストレステストだけでは再稼働の条件は不十分」とし、福島原発事故の教訓を踏まえて示すよう政府に求めている。背景には、再稼働という重大な判断は自治体首長には荷が重いとの本音が垣間見える。

再稼働の行方を左右するのが地元議会の意向だ。再稼働に向けストレステスト（耐性調査）を実施した大飯原発3、4号機がある福井県の議会は24日に開会する。「3月16日までの議会で同意を得なければ、大飯原発の今夏までの再稼働は難しい」との見方は多い。

日本経済新聞
2012年2月21日

翌月になったら、
批判を受けて、
25%不足を引っ
込めて、
なんと13.9%不
足と言いなおし
た。

関電「夏13.9%不足」

原発なしの電力試算

大阪府市のエネルギー戦略会議が12日開かれた。出席した関西電力幹部は、停止した原発を再稼働させず、今夏の電力需要が昨夏並みの低水準で推移した場合、13・9%の電力不足になるとの試算を示した。また、原発事故による大阪への影響予測を示す考えも明らかにした。

政府のエネルギー環境会議は昨年11月、関電管内の需給を25%不足と試算していた。関電の岩根茂樹常務はこの日、原発を再稼働しなければ、昨夏の需要実績で単純計算すると今夏の電

力供給は386万キロワット不足し、2398万キロワットにとどまると説明した。会議では、元経済産業省官僚の古賀茂明府市特別顧問が関電に対し、福井県で原発事故が起きた場合の放射性物質の拡散範囲についてデータ提供を要求。関電側は「(遠隔地の)大阪への影響を計算するのは非常に難しい」としたが、経産省に提出したデータを府市にも示す考えを示した。

古賀氏はまた、関電側に社長ら役員の内別の報酬額や社員の年齢別人件費、政治家のパーティー券購入実績、政府から関電への天引き状況を示すよう求めた。しかし、関電側は「役員報酬は総額を示している」などとして応じなかった。

読売新聞3月24日の社説・・・

「原発検査」了承

政治が決断し再稼働を目指せ

——国内の原発は次々に定期検査に入っており、5月にはすべて止まる。原発抜きでは当面、電力の安定供給は望めない。

合理的な理由もなしに、再稼働を先送りしている余裕はない。

そのため、関西地方の企業は、「電力不足では節電に追いまくられて、企業が成り立たない。国外脱出も難しい。原発は危険で信用ならないが、背に腹は換えられない。原発を少し動かしてもらおうか」といった間違った方向に誘導されそうになっています。

また一般消費者でも、似たような気分に追いこまれる人さえいます。

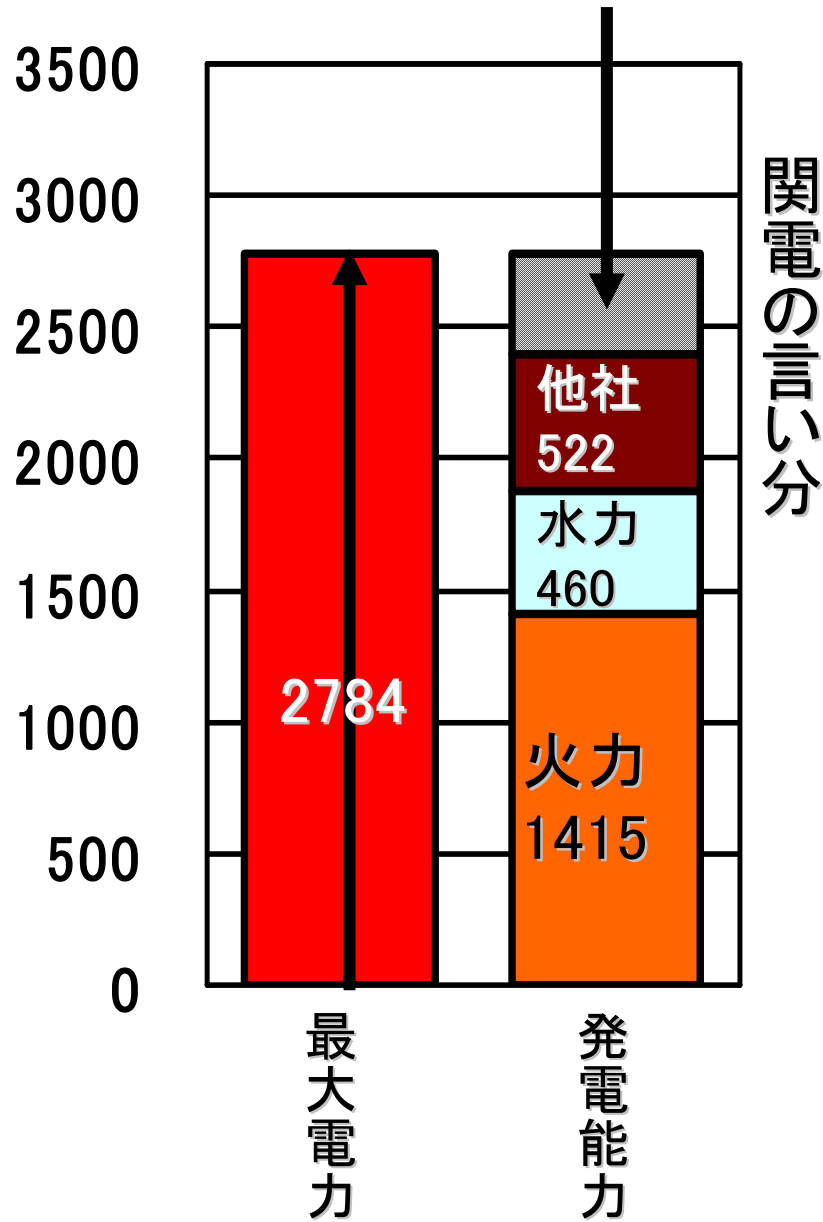
ほんまかいな

再稼働など必要ないという
合理的な理由がここにある

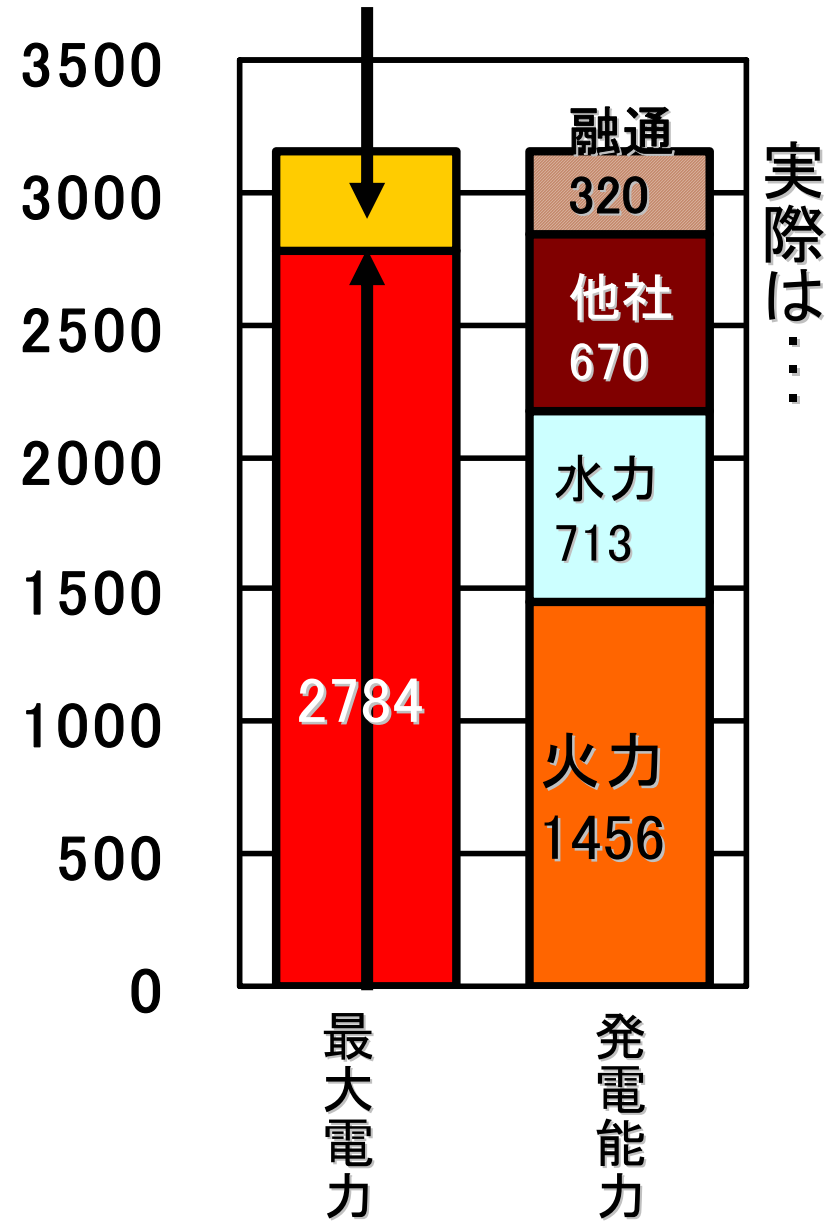
25%の電力不足というデマを飛ばしてきた関電の化けの皮がはがれて、13.9%不足となったが、これもまたデマである。

電力不足は
トンデモナイ嘘だ。
アホ言うな！

不足387万kW
13.9%



余剰375万kW
13.5%



電力会社ごとの火力・水力・原子力の発電能力の内訳は、インターネットを用いて調べることができる。

資源エネルギー庁→統計情報→電力関連・電力調査統計→統計表一覧→1-(1) 発電所認可出力表の(平成24年1月sheet)に、2012年1月現在の値が出ている。

統計情報



▶ サイトマップ
▶ English

サイト内検索 (e-Gov)

検

- ▶ 組織・機構
- ▶ エネルギー・資源を取り巻く情勢
- ▶ 施策情報
- ▶ よくある質問とその回答
- ▶ ご意見・ご要望
- ▶ インフォメーション
- ▶ 審議会情報
- ▶ イベント情報
- ▶ 統計情報
- ▶ 調達情報
- ▶ 予算・決算情報、財務書類
- ▶ その他の行政情報・情報公開

東日本大震災 関連情報

節電

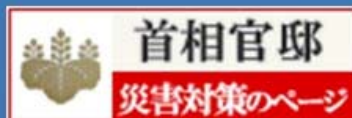


電力需給対策

※電気の使用制限について

ガソリン・LP等の石油製品及び都市ガス

↓ 関連リンクはこちら ↓



新着情報

最近の新着情報

施策情報

トップページ > インフォメーション > 統計情報

統計情報

分野	統計名	区分	周期
◻ 需給関連	総合エネルギー統計	加工統計	年
◻ エネルギー消費統計	エネルギー消費統計調査	一般統計	年
	都道府県別エネルギー消費統計調査	加工統計	年
◻ 石油・LPガス関連	石油備蓄の現況	業務統計	月
	LPガス備蓄の現況	業務統計	月
	灯油及びプロパンガス消費実態調査	一般統計	2年
	石油製品需給動態統計調査(※)	基幹統計	月
	石油輸入調査(※)	一般統計	月
	石油設備調査	一般統計	2年
	レアメタル生産動態統計調査	一般統計	月
◻ 石炭・鉱物資源 関連	非鉄金属等需給動態統計調査	一般統計	月
	非鉄金属海外鉱等受入調査	一般統計	月
	埋蔵鉱量統計調査	基幹統計	5年
	貴金属流通統計調査	一般統計	月
	電力需要調査	一般統計	年
◻ 電力関連	電力調査統計	業務統計	月
◻ ガス関連	ガス事業生産動態統計調査	基幹統計	月
	簡易ガス事業生産動態統計		

電力関連 電力調査統計

※本調査の結果は、速報値については石油統計速報にて、確報値については資源・エネルギー統計確報及び年報

下のほうに 統計表一覧NEW

- ・ 8月19日 電力調査統計を更新しました
- ・ 8月15日 電力調査統計を更新しました
- ・ 7月20日 電力調査統計を更新しました
- ・ 7月15日 電力調査統計を更新しました
- ・ 6月30日 電力調査統計を更新しました
- ・ 6月22日 電力調査統計を更新しました
- ・ 6月20日 電力調査統計を更新しました
- ・ 6月15日 電力調査統計を更新しました
- ・ 5月25日 電力調査統計を更新しました
- ・ 5月20日 電力調査統計を更新しました
- ・ 4月27日 電力調査統計を更新しました
- ・ 4月20日 電力調査統計を更新しました
- ・ 4月15日 電力調査統計を更新しました
- ・ 3月18日 電力調査統計を更新しました
- ・ 3月15日 電力調査統計を更新しました
- ・ 3月13日 電力調査統計を更新しました
- ・ 2月18日 電力調査統計を更新しました
- ・ 2月15日 電力調査統計を更新しました
- ・ 1月26日 電力調査統計を更新しました
- ・ 1月21日 電力調査統計を更新しました
- ・ 12月20日 電力調査統計を更新しました

- 統計の概要
 - ▶ 統計の目的
 - ▶ 統計の沿革
 - ▶ 統計の概要
 - ▶ 統計の利活用事例
 - ▶ 統計の作成方法
 - ▶ その他
- 集計結果又は推計結果
 - ▶ 結果の概要
 - ▶ 統計表一覧 **NEW**
 - ▶ 用語の解説
 - ▶ 正誤情報
 - ▶ その他
- 公表予定
- 公表形態
- Q & A
- 最近の見直し
- 各種参考情報
- その他
- 問い合わせ先

経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 電力市場整備課
電話 代表03-3501-1511 内線4741~4746

トップページ > インフォメーション > 統計情報 > 電力調査統計 > 集計結果又は推計結果

集計結果又は推計結果

電力調査統計

- ▶ 結果の概要
- ▶ 統計表一覧
- ▶ 正誤情報
- ▶ 利用上の注意
- ▶ 用語の解説
- ▶ その他

統計表一覧 1-(1) 発電所認可出力表

平成23年度

- 総需要速報概要(XLS/605KB)
- 概況(XLS/90KB)
- 1-(1) 発電所認可出力表(XLS/106KB)**
- 1-(2) 発電所出力変更状況(XLS/71KB)
- 2-(1) 発電実績(総括)(XLS/55KB)
- 2-(2) 月間最大電力(一般電気事業者)(XLS/56KB)
- 2-(3) 最大3日平均電力(一般電気事業者)(XLS/62KB)
- 2-(4) 発電設備利用率(一般電気事業者)(XLS/65KB)
- 2-(5) 発電実績(一般電気事業者)(XLS/99KB) **NEW**
- 2-(6) 水力発電実績(卸電気事業者及び特定電気事業者)(XLS/63KB)
- 2-(7) 火力・原子力発電実績(卸電気事業者及び特定電気事業者)(XLS/72KB)
- 2-(8) 特定規模電気事業者(XLS/101KB)
- 2-(9) 一般電気事業者間の送受電実績(XLS/91KB)
- 3-(1) 用途別電灯電力需要実績(一般電気事業者 卸電気事業者 特定電気事業者及び特定規模電気事業者合計)

http://www.enecho.meti.go.jp/info/statistics/denryoku/resource/h23/1-1-H23.xls

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) 移動(G) お気に入り(A) ヘルプ(H)

お気に入り http://www.enecho.meti.go.jp/info/stats...

D26 208261

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1		1-(1)発電所認可出力表			(平成24年1月)									
2					水力		計		火力					
3			合計						汽力		ガスタービン		内燃力	
4			発電所数	認可最大出力	発電所数	認可最大出力	発電所数	認可最大出力	発電所数	認可最大出力	発電所数	認可最大出力	発電所数	認可最大出力
5		北海道	67	7,422	53	1,236	11	4,065	6	3,900	1	148	4	
6		東北	230	16,823	210	2,434	13	10,890	8	10,715	0	88	5	
7		東京	(1)	(1)			(1)	(1)					(1)	
8			196	66,724	163	8,981	25	40,402	15	38,471	0	1,560	10	
9		中部												
10			198	32,835	183	5,218	11	23,969	10	23,969	0	0	1	
11		北陸												
12			140	8,058	128	1,905	6	4,400	5	4,400	0	0	1	
13		関西	(1)	(8)			(1)	(8)					(1)	
14			166	34,882	150	8,197	12	16,907	11	16,867	1	40	0	
15		中国												
16			111	11,989	97	2,908	12	7,801	9	7,765	0	0	3	
17		四国	(2)	(11)			(2)	(11)			(1)	(4)	(1)	
18			65	6,963	58	1,141	4	3,797	4	3,797	0	0	0	
19		九州	(2)	(18)			(2)	(18)			(1)	(15)	(1)	
20			195	20,630	140	3,579	45	11,577	11	11,182	3	3	31	
21		沖縄	(1)	(13)			(1)	(13)			(1)	(13)	(0)	
22			22	1,933	0	0	21	1,933	4	1,467	4	291	13	
23		計	(7)	(51)			(7)	(51)			(3)	(31)	(4)	(2)
24			1,390	208,261	1,182	35,597	160	125,741	83	122,533	9	2,130	68	1,000
25		卸電気事業者												
26		電源開発	67	16,993	59	8,566	7	8,412	7	8,412	0	0	0	
27		日本原電	2	2,617	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
28		計												
29														
30														
31														

H23.4 / H23.5 / H23.6 / H23.7 / H23.8 / H23.9 / H23.10 / H23.11 / H23.12 / H24.1

環境省 半剛かな

関西電力



1/2

この一般電気事業者が電力会社のこと、その「関西」が関西電力の発電能力になる。

単位1000kWで表示してあるので...

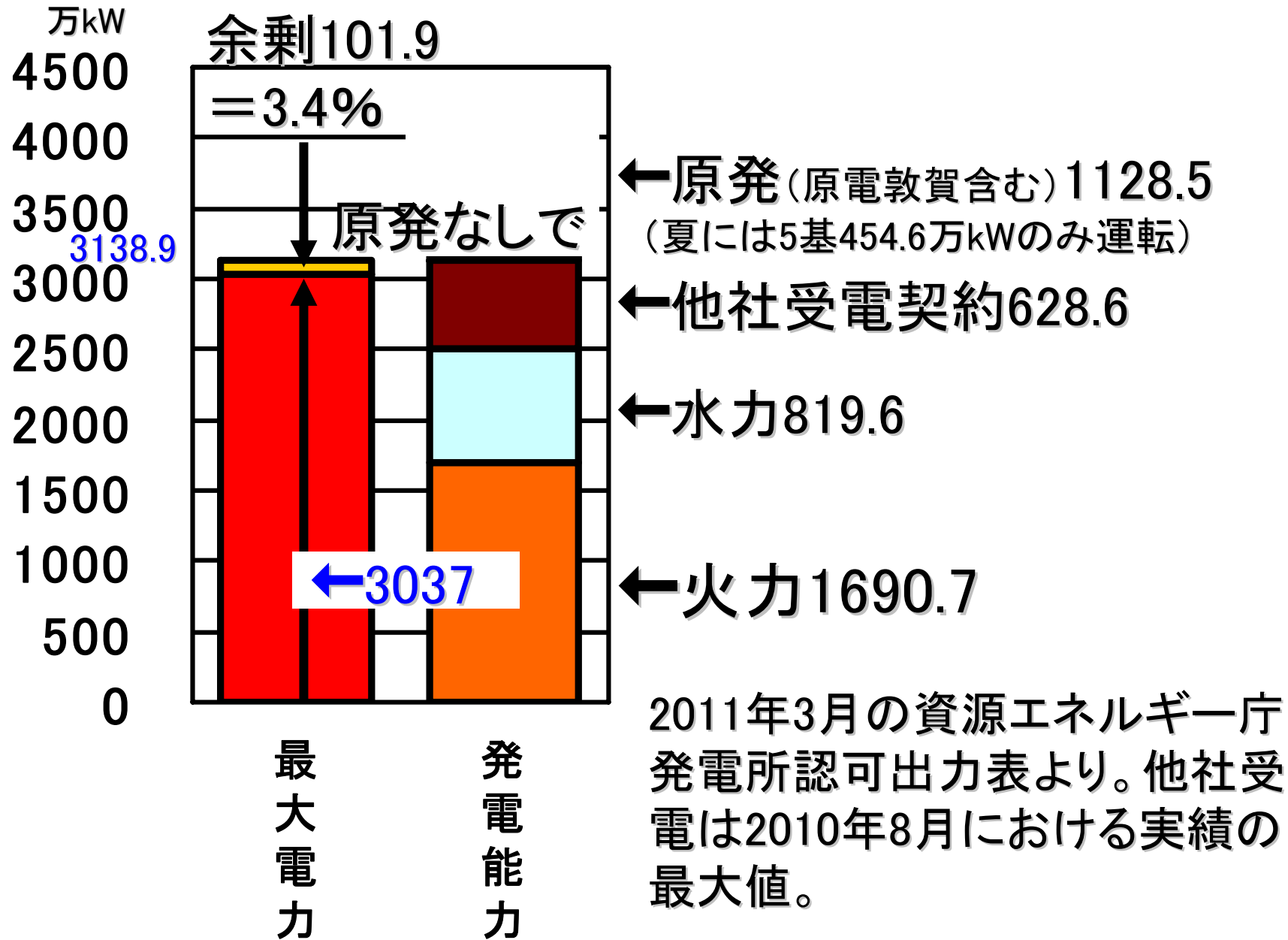
○水力——8197とあるのは、819.7万kW

○火力——1690.7万kW

○原子力——不要

最大電力需要

2011年夏における関西電力の発電能力



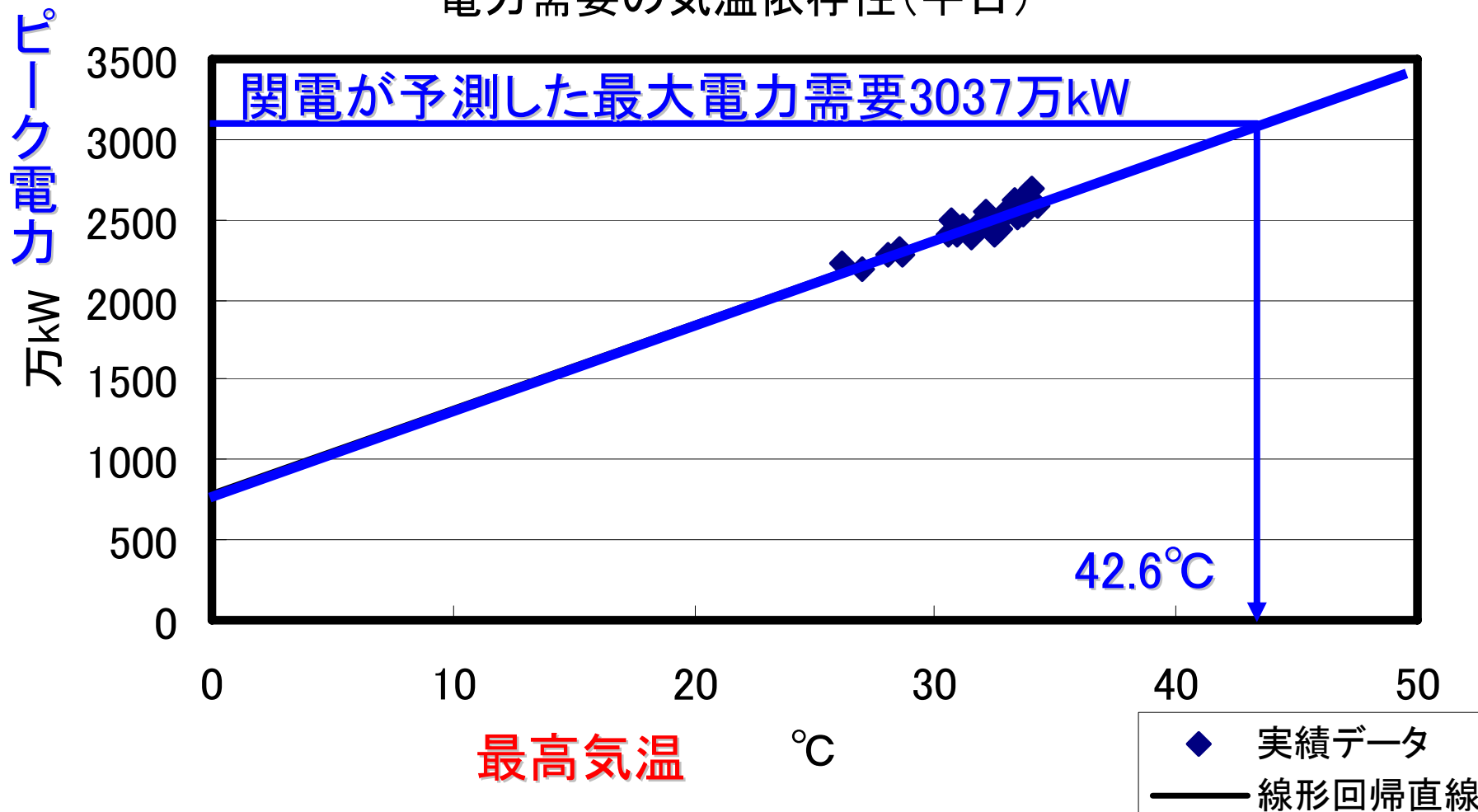
これではギリギリのようだが、まったく電力不足は起こらなかった。

その後、京都在住の田中こうじ氏が、2011年6月末～7月～8月8日までの平日の日最高気温（大阪）と実績電力需要から回帰式を作って、関電の予測がどのようにして導かれたかを検証した↓。

この式 $T=(W-794)/52.7$ から、3037万kWの最大電力需要予測の根拠を求めると、関電の予測最高気温が42.6°Cというトンデモナイ猛暑をもって、電力不足を煽っていることが明らかになった。

グラフの勾配と切片から 電力需要 $W = 52.7 \times T + 794$ となる

電力需要の気温依存性(平日)



$T = (W - 794) / 52.7$ なので、 $W = 3037$ 万kWならば、
 $T = 42.6^\circ\text{C}$ のあり得ない猛暑になる。

そして、実際に、関西電力管内での2011年夏の最大電力需要は、大阪市で35.6°Cとなった8月9日の2784万kWでしかなかった。

$3037 - 2784 = 253$ 万kW も過大に電力需要を見積もって、消費者に脅しをかけてきたのだ。

大飯原発3・4号機は、 118 万kW $\times 2$
基 = 236 万kW

そして今年の25%電力不足というデマは、昨年よりひどい大嘘の最大電力需要3138万kWという、あり得ない想定をして、電力不足を煽ってきた。

○2010年度の関電の最大電力需要の求め方
電気事業連合会サイト→右側にある「電力統計
情報」をクリック

[http://www.fepec.or.jp/library/data/tokei/index.h](http://www.fepec.or.jp/library/data/tokei/index.html)

[tml](http://www.fepec.or.jp/library/data/tokei/index.html) →同意する→左側の「最大電力」→「項目を
選択してください」欄の「総合計」と「最大発生日
時」の両方とも選択し、「検索項目一覧」欄も同じ
に選択する。その下の「会社固定」欄で会社「関
西」を選び、年「2009～2012」を選んで、「検索」を
クリックする。

今冬の電力需給と節電へのお願い

今冬につきましては、電力需給がひっ迫しております。停電の発生を回避するため、皆さまには、ご不便ご迷惑をおかけしますが、無理のない範囲での節電にご協力くださいますようお願いいたします。

原子力発電所の緊急安全対策等およびストレステスト

今冬の電力需給と節電へのお願い

放射線について

このたびの東日本大震災により、被災された皆さま、ご関係の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

電力統計情報

電気事業連合会からのお知らせ

3月27日付毎日新聞1面「原発防災 電事連も強化反対文書」について (2012年3月27日)

3月27日付毎日新聞1面「原発防災 電事連も強化反対文書」について

震災を踏まえた供給信頼度とFC必要量、送電線工事の工期短縮の可能性について (2012年3月26日)

2012年3月26日に開催された「第3回地域間連系線等の強化に関するマスタープラン研究会」において、震災を踏まえた供給信頼度とFCの必要量、送電線工事の工期短縮の可能性について電気事業連合会から説明いたしました。

説明資料「震災を踏まえた供給信頼度とFC必要量について(補足資料)I」

説明資料「送電線工事の工期短縮の可能性について」

スマートメーター導入に係る電気事業者の取り組みについて (2012年3月12日)

2012年3月12日に開催された「第11回スマートメーター制度検討会」において、スマートメーター導入に係る電気事業者の取り組みについて電気事業連合会から説明いたしました。

説明資料「スマートメーター導入に係る電気事業者の取り組みについて」

文字サイズを変更

電気事業連合会からの公開情報

- 会長定例会記者会見
- 電力需要実況
- 送電線速報
- 電力統計情報**

<p>電気事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電のしくみ 送電のしくみ 安全供給に向けた取り組み 電気料金のしくみ 	<p>原子力発電について</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子力発電の現状 原子力発電所の安全確保 放射線とは 原子燃料サイクル 	<p>環境への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化対策 新エネルギーへの取り組み 電力の技術開発 	<p>情報ライブラリー</p> <ul style="list-style-type: none"> 電力データ 電力用語集 パンフレットのご案内 ご請求について
--	---	--	---

原子力・エネルギー図面集 & Energy Market 2012

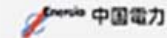
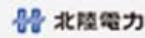
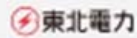
映像で知るエネルギー 電事連チャンネル

ウェブマガジン Web Magazine Enellog

海外電力関連情報

FAQ 原子力や放射線に関するよくあるご質問

専門家が答える暮らしの放射線 Q&A



電気事業連合会

The Federation of Electric Power Companies of Japan.

RSSを取得する

サイト内検索

電気事業について
ELECTRIC POWER ENTERPRISE

原子力発電について
NUCLEAR

環境への取り組み
ENVIRONMENT

情報ライブラリー
LIBRARY

電力データ

電力用語集

パンフレットのご案内・ご請求について

海外電力関連情報

エネルギー・環境教育

電力会社・電力施設情報

HOME > 情報ライブラリー > 電力データ > 電力統計情報

電力データ

電力需要実績

発受電速報

原子力発電所の運転情報

→ 運転情報・実績データ

→ トラブル情報

電力統計情報

電気事業のデータベース (INFOBASE)

原子力施設情報公開ライブラリー「ニューシア」

電力統計情報

各電力会社から集めた電気事業に関する統計データを公開しています。施設・設備のデータから需要・供給・管理情報などさまざまな統計データをご覧いただけます。

最も古いデータは1998年度(昭和38年度)からご覧いただけます。ただし、沖縄電力(および10社計)のデータについては、1989年度(平成元年度)以降については、掲載していません。なお、項目によってデータの保有期間が異なりますのでご了承ください。

電力統計情報

電力統計情報

免責事項

同意する

本データベースの検索により抽出されたデータの再利用は、利用者の責任において行って下さい。また、データの内容には万全を期しておりますが、システム上のトラブルなどでデータが完全でない場合もあり得ます。掲載されたデータによりいかなる支障が生じたとしても、当方は一切の責任を負いません。また、本システムは予告なしにバージョンアップ等の変更をする場合があります。以上のことに承諾していただける場合のみご利用いただけます。

電力統計情報

I. はじめに

- ・ [ユーザーズガイド](#)

II. 施設

- ・ [発電設備\(電気事業者別・原](#)
- ・ [発電設備\(地域別\)](#)
- ・ [受電契約](#)
- ・ [送電設備](#)
- ・ [変電設備](#)
- ・ [配電設備](#)

III. 需給

- ・ [発電電力量\(発受電電力量\)](#)
- ・ [電灯電力契約口数](#)
- ・ [電灯電力契約kW数](#)
- ・ [電灯電力需要使用電力量](#)
- ・ [産業別使用電力量](#)
- ・ [電力損失率](#)
- ・ [燃料実績](#)
- ・ [出水率](#)
- ・ [最大電力](#)

1999年度までのデータ

- ・ [電灯電力契約口数](#)
- ・ [電灯電力契約kW数](#)
- ・ [電灯電力需要使用電力量](#)
- ・ [選択約款電力需要](#)

IV. 経理

- ・ [収支総括表](#)
- ・ [貸借対照表\(資産\)](#)
- ・ [貸借対照表\(負債及び資本\)](#)

最大電力



電力統計情報

I. はじめに

- ・ [ユーザズガイド](#)

II. 施設

- ・ [発電設備\(電気事業者別・原](#)
- ・ [発電設備\(地域別\)](#)
- ・ [受電契約](#)
- ・ [送電設備](#)
- ・ [変電設備](#)
- ・ [配電設備](#)

III. 需給

- ・ [発電電力量\(発受電電力量\)](#)
- ・ [電灯電力契約口数](#)
- ・ [電灯電力契約kW数](#)
- ・ [電灯電力需要使用電力量](#)
- ・ [産業別使用電力量](#)
- ・ [電力損失率](#)
- ・ [燃料実績](#)
- ・ [出水率](#)
- ・ [最大電力](#)

1999年度までのデータ

- ・ [電灯電力契約口数](#)
- ・ [電灯電力契約kW数](#)
- ・ [電灯電力需要使用電力量](#)
- ・ [選択約款電力需要](#)

IV. 経理

- ・ [収支総括表](#)
- ・ [借借対照表\(資産\)](#)

項目を選択してください

総合計
最大発生日時

「総合計」と
「最大発生日時」の
両方とも選択する

1.会社固定(複数項目の年度比

較)

2.年度固定(複数項目の各社比

較)

3.項目固定(複数年度の各社比

較)

3の場合、項目は1つしか選択できません

1を選択する

選択

全て選択

選択をクリックする

電力統計情報

I. はじめに

- ・ [ユーザーズガイド](#)

II. 施設

- ・ [発電設備\(電気事業者別・原](#)
- ・ [発電設備\(地域別\)](#)
- ・ [受電契約](#)
- ・ [送電設備](#)
- ・ [変電設備](#)
- ・ [配電設備](#)

III. 需給

- ・ [発電電力量\(発受電電力量\)](#)
- ・ [電灯電力契約口数](#)
- ・ [電灯電力契約kW数](#)
- ・ [電灯電力需要使用電力量](#)
- ・ [産業別使用電力量](#)
- ・ [電力損失率](#)
- ・ [燃料実績](#)
- ・ [出水率](#)
- ・ [最大電力](#)

1999年度までのデータ

- ・ [電灯電力契約口数](#)
- ・ [電灯電力契約kW数](#)
- ・ [電灯電力需要使用電力量](#)
- ・ [選択約款電力需要](#)

IV. 経理

四十九頁

項目を選択してください

総合計
最大発生日時

- 1. 会社固定(複数項目の年度比較)
- 2. 年度固定(複数項目の各社比較)
- 3. 項目固定(複数年度の各社比較)

3の場合、項目は1つしか選択できません

選択 全て選択

検索項目一覧

総合計
最大発生日時

検索又は削除する項目を選択してください

削除

会社固定(複数項目の年度比較)

会社 **関西**

年 **2009** ~ **2012**

期単位 **年度計毎**

- 縦項目に項目、横項目に年
- 縦項目に年、横項目に項目
- グラフ表示(縦項目に年、横項目に項目)

検索

関西を選択する

検索をクリック

2009~2012とする

2009年度と2010年度の 関電のピーク電力と それを記録した日時が出る

閉じる

[CSVファイル\(Shift-JIS\)](#) [CSVファイル\(JIS\)](#) [CSVファイル\(EUC\)](#)

関西 $MW = 100万W = 1000000W = 1000kW = 0.1万kW$

		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
総合計	MW	28178	30950		
最大発生日時	年月日h	2009.07.14.15	2010.08.19.15		

8月9日の2784万kW

猛暑になった2010年度の関電の最大電力
需要は2010年8月19日午後3時に記録した
3095万kWであった。

3138万kWとは、おととしの猛暑時3095万kWよりさらに大きいという、デタラメ想定であった。

大きな批判を受けて、昨年の最大需要2784万kWを想定することになった。